

## 事業者向け

## 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			1日の利用人数によってグループ分けを行い、プログラムを考えスペースが保たれるように工夫しています。スケジュール設定の際に部屋ごとにグループや活動の時間を分け適切に部屋を使っています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			基準配置に加え、その日の児童の状況に応じて職員を増やして配置しています。利用者様の特性や活動内容に応じて、職員を増員したり個別(別室)対応も行っています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		建物の構造上難しい部分もあるが、トイレ・階段の手すりや簡易スロープ等も備えています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			療育終了後に改善点を話し合い定期的に職員会議で業務改善に努めています。パート職員にも出勤時や後日、改善点や共有すべき情報を伝えています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者様向け評価表や、面談・送迎時での保護者様の声を受けて療育プログラムの改善に繋げています。「広い庭があったらいいな」等建物の構造上の問題はありますが、近隣の公園で活動したり、保護者の意向を把握し改善に繋がるように努めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			自己評価の結果をホームページで公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	外部評価として行ってはませんが、モニタリングや担当者会議、他関係機関等から意見交換やアドバイスを頂いた際には検討し、実施していることもあります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部研修や内部研修を行い療育の向上に努めています。研修機会の情報を収集し、可能な研修に参加しています。
適切な 支援の	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			児童一人ひとりのアセスメントを行い、面談や相談を行い保護者様のニーズを明確にしてから計画を作成するようにしています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			太田ステージを参考にしています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			話し合いを随時行いながら、より良い療育を提供できるように努めています。ケース会議を行い、保護者・学校・相談支援事業所の意見も踏まえた上でプログラムの立案を行っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			通常の活動プログラムに加え、児童の発達段階や特性に合わせてプログラムを工夫しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日では個別課題の後にSSTや就労に向けての作業訓練等を集団活動として設定しています。休日や長期休みのように時間が取れる場合には、買い物訓練等日頃の活動を社会訓練の場として設定し実施しています。体験的な活動でもルールを守る等より細かく設定して個々の課題として合った事に取り組んでいます。

提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		児童の発達段階に応じて小集団活動を設定し、個別課題と組み合わせています。個別課題も状況に応じて行い、集団活動では中学部・高等部の利用者様の必要に応じて作業活動を取り入れたり内容を工夫しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		支援の内容や役割分担を表に記入して打ち合わせをしています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		支援終了後に改善点や気が付いた点を職員間で話し合い共有しています。また、振り返りを行い支援の向上にも努めています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		個別課題の記録を取り、支援内容の見直しを行っています。課題記録シートを記入し、それを基に課題の見直し支援の検証にも繋げています。また、就労に向けた作業訓練の記録も同様に行っています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		半年に1度行っているが、必要に応じて見直しを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○		ガイドラインに沿った内容を実施しています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		担当者や子どもの状況に精通した職員が参加するようにしています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		保護者様や学校と共有し連絡調整を行っています。また、西日本豪雨災害での臨時バス、仮設の学校迎え等連絡を密にとり臨機応変に対応しています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		てんかん等起こり得る病気は事前に保護者様と情報を共有し、起きた時の病院への連絡等の対策をマニュアル化しています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		新規利用者様に関しては可能な限り就学前の施設を見学訪問させて頂き、情報の共有に努めています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	現在、該当者はおられません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	支援教育センターや専門機関等と連携し個人の報告を行い、助言を頂いたり情報を共有しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		児童館や近隣の公園で交流する機会は設けています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		可能な限り参加できるよう努めています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎の際などに子どもの様子や状況を伝えている。家庭、学校できるようになったことや興味を持ち始めたことの情報保護者様と共有し、支援計画の課題の共通理解をした上で課題内容に反映しています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	トレーニングという形式は確立していませんが、事業所での成功例や家庭でできる手立てを助言させて頂くことはあります。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			運営規定、利用者負担等については契約時に行い、変更があればその都度説明を行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			子育てや思春期の悩み、不登校について、または友達関係のトラブル等相談を受け助言を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	事業所として保護者会は開催していませんが、保護者様からの要望があれば茶話会等を開催するように検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情やトラブルに関してはその日のうちに職員間で周知し、子どもや保護者様に対しても状況説明や対応等、ご理解頂く説明ができるよう努めている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月の活動予定表、ブログでの活動記録やInstagramでの配信を行っています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			写真撮影の有無など個々の条件によって対応しています。個人情報の取り扱いについては保護者様に契約時に説明させて頂いた上、記名・押印して頂いています。重要書類は鍵付きのロッカーで保管しています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			個々に合わせて児童や保護者様とも意思の疎通をはかり、児童に合わせた配慮をしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	地域の清掃活動は行っていますが、今後、地域住民の方と一緒に取り組める活動も検討していきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			災害時・感染症対応等の各マニュアルを作成し、全職員に周知しています。また、てんかん発作等の個々に対応が違うものについても対応マニュアルを作成し、事業所や送迎車に置いています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			避難計画を作成し、定期的に避難訓練を実施しています。消防署にも事業所を登録してもらっています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			外部内部研修を通して共通理解を図り、利用者様に対して丁寧で適切な対応を心がけています。定期的に研修機会も設けています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			やむを得ず一時的拘束をする場合について契約時に説明を行っています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			アレルギー一覧表を作成し誤飲・誤食を防ぐため印を付けたり、色を変える等工夫をしています。児童のカードに色テープを貼り、全職員が認識できるようにしています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			環境面や支援の観点からも当事者に記入してもらい、職員全体で振り返り、改善点があれば早急に行い、再発防止に役立てています。